

全国88,000社の整備工場とNGP組合員200拠点を結ぶホットライン

2004.12月号

NIPPON GOOD PARTS

# NGP NEWS

No.164

**自動車リサイクル業界初!!**

## NGP日本自動車リサイクル事業協同組合設立!!

組合創立総会を開催!新たな自動車リサイクル時代への第一歩を踏み出す

NGPグループは去る10月22日、東京都内の品川プリンスホテルにて、第18回の定期総会を開催し、同グループを自動車リサイクル業界では初となる事業協同組合へと移行し、名称も新たに「NGP日本自動車リサイクル事業協同組合」として発足した。

### NGPグループから受け継がれる意思と事業協同組合化の趣意!!

組合創立総会の冒頭、組合化移行でNGPグループ会長から同協同組合の理事長に就任した青木勝幸新理事長は、「NGPグループは今日までグループを創設した大石一彦名誉会長の意思を引き継ぎNGP三大信条（①お客様第一!②よりよい商品を!より正確に!より早く!③補修部品業界のリーダーたること!）を理念として、会員相互扶助精神の基に、自動車リサイクル部品「NGPブランド」の確立に努め、リサイクル部品の供給力及び品質面において業界ナンバーワンとして評価されるまでになることができた。また、近年は、自動車リサイクル法の施行を控え、従来のリサイクル部品共有在庫ネットワークの運営を行うとともに、使用済自動車の適正処理ネットワークとして全会員参加によるエコ推進運動の展開、損害保険会社・リース会社等の全損車両引取マニュアルを作成し、その適正処理を遵守した業務や自動車リサイクル法等の新たな説明会などの組織的活動を展開してまいりました。しかしNGPグループが会員に果たすべき社会的使命、役割はますます専門化し、かつ迅速化を求められ



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合設立趣意書を唱和する青木勝幸理事長

ています。」と前段挨拶を行ったうえで、NGPグループが、これらの社会的ニーズや直面している問題に全力で取り組む活動基盤を作るために、組織の協同組合化を行うこととしたと協同組合設立の目的を語った。

さらに、今回の協同組合化の趣意として、今までNGPグループ並びに㈱NGPで行ってきた経済事業も全国規模の営業店網を持つ損害保険会社、自動車整備事業者、自動車販売会社等との取引関係も密接となり、直接、NGPグループ自身が法律行為・商法行為の主体となること、組織行為に法律に基づくコンプライアンスが要求される等、法人格がないと経済活動に支障をきたすことも多くなり、自動車リサイクル法施行に向けて、リサイクル部品の規格統一化、技術教育、啓蒙活動等、環境リサイクル時代に対応する社会貢献活動をNGPグループ組織活動の主

課題として展開することを決意した。

青木理事長はさらに「NGPグループの法人化（事業協同組合）移行によって、①教育研修の徹底②組合員の環境経営③行政、公共、各関係先に対する訴求力④新たな環境事業に取り組む

ためのリスクの軽減⑤リサイクル部品の啓蒙、普及貢献⑥環境保全への社会貢献活動等に向けて万全を期するため、事業協同組合を設立することを決意致しました。」と創立総会で宣言を行った。

尚、この度のグループから事業協同組合への移行に伴い、グループ会員138社は同協同組合の組合員となり、今まで以上にお客様サービスの内容充実に向けていくとしている。

### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 新役員

理事長	青木 勝幸
副理事長	坪 千代志
専務理事	宮地 康弘
理事	太田 広
理事	大橋 岳彦
理事	佐藤 幸雄
理事	島野 敬
理事	田中 清
理事	長谷川利彦
理事	山本 善範

# 第18回NGPグループ定期総会を開催

今期はリサイクル部品啓蒙ツールや環境報告書の作成など積極的な事業取り組みを行う

NGPグループは、事業協同組合創立総会に先立って、平成16年度（第18回）の定期総会を開催した。

総会冒頭に挨拶した青木勝幸会長は「今期は、様々な面で新しいことにチャレンジした年」と言う様に新NGPシステムの導入やグループ本部の移転、(株)NGPとの一元化体制の強化、会員拡大と組織強化の推進、新画像伝送オークションシステムの開発と運用など積極的に様々な取組を進め、着実な成果を成してきた。

特に来年から実施される自動車リサイクル法の完全施行に向けて、整備事業者への内容説明会の開催や整備工場、板金工場がエンドユーザーに対して、リサイクル部品の有効活用を啓蒙促進するための3点ツールを作成。グループ会員を通じて20,000セットを無料配布するなどPR活動を展開した。

更に自動車リサイクル法では、いち早く法令遵守の姿勢を打ち出し、自動車解体を行っている全会員メンバーの自動車リサイクル法解体業の業許可取得を目標として届出・許可申請の早期提出の徹底を図るとともにNGPグループが独自に進

めてきた使用済自動車の適正処理及び高品質リサイクル部品生産供給を通して新法の求める廃自動車（500万台）の循環型社会の形成に貢献することを達成目標として掲げ、その取組内容を「NGPグループ環境報告書」としてまとめ、発行した。

青木会長は、「NGPグループの法人化に伴い、こうした今まで築いてきたグループ理念や信条をしっかりと継承しつつ、自動車リサイクル法元年の激動する競争時代の幕開けとともに『NGP日本自動車



NGPグループの環境への取組を掲げた「環境報告書」



からの呼びかけで、重病を患う少年への募金活動も行われた

リサイクル事業協同組合』への法人化を目指すことは、NGPグループが戦略組織への変革を図り、自動車リサイクル部品業界唯一の法人格である全国協同組合として、行政機関の信頼確保、政策提言及び他組合団体との提携、経済活動コンプライアンスなど、全てに於いて一歩も二歩も前進できるものと決意を固くいたしております。」と語り、NGPグループとしての最後の総会を新たな船出として締めくくった。

## 経済産業省 宮本昭彦氏による自動車リサイクル法特別基調講演会

事業協同組合創立総会の第二部では、経済産業省製造産業局自動車課、宮本昭彦自動車リサイクル室長による「自動車リサイクル法」に関する特別基調講演会も開かれた。

自動車リサイクル法では、自動車解体

リサイクル法  
の特別講演  
を行った  
宮本昭彦氏



業者許可制度となり、来年自動車リサイクル法完全施行に先駆けて、本年7月より業許可の許可申請がスタートしている。

宮本室長は講演の中で、現在の各自治体への解体業者許可申請状況について、最終的に5,000社程度になると語った（ただし、申請受付が5,000社で実際許可が下りるかは未定）。

この5,000社には既存の自動車解体業者の他に新規参入企業や自動車整備工場が部品取りを行うために許可申請（自動車リサイクル法では、解体業の許可のない事業者は使用済自動車から部品取りすることを禁止している）を行ったケースも多く含まれているとのことである。

各自治体に解体業の許可申請を行った事業者は、自動車リサイクルシステムへの登録申請が必要であること、まだ済んでいない事業者には早期の手続きを促した。

また、今回自動車リサイクル法の関係で改正される道路運送車両法の抹消登録手続きの変更点や新たに導入される使用済自動車の車検残存期間に対する自動車重量税の還付制度に関する説明など、詳細で多岐に渡る法律の問題について、分かりやすい解説が行われ、自動車リサイクル法施行準備を進めているNGPグループメンバーにとっても非常に有意義な講演内容となった。

## 株式会社NGPが株主総会を開催

NGPグループの定期総会に先駆けて、同日午前中に(株)NGPの株主総会が開催された。

同社は今期、東京本社移転や社名変更を行い新しい地で、新しい会社を目指し「お客様第一を実践し、強く前進する」をテーマに活動を展開し時代を勝ち抜く為の、会社基盤を構築する元年と位置づけていた。

特に当期事業方針の柱と掲げた「競争時代を勝ち抜く会社への改革」「健全・堅

実経営によるクリーンな会社への改善」は、前期は悪戦苦闘したが、下期以降は徐々に改善成果を現し、総決算では利益確保の黒字経営となった。

また、当期事業としては新NGPニュースの発行、ギャランティーシールの改正、自動車リサイクル法Q&Aの製作などNGPグループメンバー支援活動を着実に前進させ、さらに台風16号・18号の水害車両への対応は現地でのNGP会員との連携により新潟県、福井県で引き揚げ台数約

600台の実績を残した。

尚、今回の株主総会では宮地康弘常務取締役が新役員として就任した。



(株)NGP株主総会

# NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 設立記念祝賀会

事業協同組合創立総会後に開催された設立記念祝賀会には、多数の来賓の方々をお迎えして盛大かつ華やかな宴が催された。

また、創立総会で特別講演会を行った経済産業省の宮本昭彦氏をはじめ、多くのご来賓の方々からお祝いの祝辞をいただき、鏡割りを行ってNGP日本自動車リサイクル事業協同組合の新たな門出に華を添えた。



司会者の掛け声とともに盛大な鏡割り



環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 自動車リサイクル対策室 山本昌宏室長



九州大学 石炭研究資料センター 外川健一助教授



あいおい損害保険(株) 窪田泰彦代表取締役副社長



(社)日本中古自動車販売協会連合会 小川逸樹会長

(財)交通遺児育英会に青木勝幸理事長より、ギランティールによる寄付金の贈呈!!

## NGP日本自動車リサイクル事業協同組合が、総会後に記者会見を開く!!

新たに設立したNGP日本自動車リサイクル事業協同組合と(株)NGPの首脳陣は総会後に恒例となっている記者会見を開催した。

会見では、記者から今回の事業協同組合化の意味と同組合の今後の活動内容、新規事業の展開などについての質問が寄せられた。

会見の冒頭、今回のNGP日本自動車リサイクル事業協同組合設立の趣意について、青木勝幸理事長より記者に説明が行われ、「自動車リサイクル法を始め、我々の業界環境も変革している真っ最中にある

ような状況の中でNGPグループが今以上にリサイクル部品を扱っていくこと、また、リサイクル部品が社会的に認知されていくためには、今までの任意団体としての活動では限界もあり、対外的にアピールしていくにも非常に限られた方法しかありませんでした。NGPグループを法人化することには、この自動車リサイクル業界の社会的認知度を上げて行くとともに、NGPとして、もう一度姿勢を正して、この業界に貢献して行くということを一番のねらいとして事業協同組合化を決意しました。」

更に青木理事長は、法人化による社会への認知度向上の核として、自動車整備工場への啓蒙促進、またパートナーシップを密にしていくことで、整備工場からエンドユーザーに自動車リサイクル部品の営業、提案を行ってもらえる支援体制づくりを組合と組合員とで進めて行きたいと語った。



記者達の質問に答える青木勝幸理事長(写真中央)

### NGP 通信欄

<組織変更> 16年10月18日変更

支部	コードNo.	会社名
東北	204	(有)西武オートパーツ 株式会社西武オートパーツ

16年8月31日  
加入



- 支部名 東北支部( No.225 )
- 社名 (株)青南商事 盛岡支店 アルトレック矢巾
- 住所 岩手県紫波郡矢巾町大字藤沢 第10地割字大下田183-3
- TEL 019-698-3399
- 代表者名 福士博之 統括部長

一言

はじめまして、この度、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合に加入いたしました(株)青南商事盛岡支店アルトレック矢巾と申します。  
当社は最新の設備で、“究極の自動車リサイクル”を目指していきなりたいと思います。NGPの三大信条を実践していきながら最大限に貢献していきなりたいと思いますので、何卒、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



ご結婚

平成16年10月24日(日)、NGP組合員、(有)リサイクルガレージケーワンの代表取締役牛場健次様が新婦ルミ様(旧姓吉村)とパシフィックホテル東京にて人前結婚式を挙げられました。おめでとうございます。



訃報 株式会社NGP 部長高橋照夫様のご尊父様 高橋勝雄様が10月4日(月)にご逝去され(享年84歳)、ベルホール年輪堂(静岡県御殿場市)にて10月6日に告別式が行われました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

